

令和3年度から6年度使用中学校用教科用図書の採択理由について

種目	発行者名	主な採択理由
国語	光村図書出版株式会社	8つの単元と「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」の3部構成となっている。 第1学年では、巻頭で「言葉に出会うために」を設け、国語学習の基本的な学び方を提示し、中学校の学習に滑らかに移行できるよう工夫されている。 教材は、学習した「言葉」を日常生活で意識できるよう系統立てて構成され、「語彙一覧」では表現力が向上する工夫もなされている。 マッピング、ブレーンストーミング、ワールドカフェで思考力を広げる手立てを紹介している。また、思考を整理し、深めるための流れが図解で例示されている。 伝統的言語文化を学ぶために、本文の教材の他に、多数の古文が資料編で紹介されている。 各学年2か所の読書単元で作品の一部を紹介することで、続きに興味を持ち、生徒が自ら図書を手に取るように促している。 「読書案内」で複数の図書を紹介したり、「読書活動」で様々な切り口から読書へ誘う工夫をしたりしている。
書写	光村図書出版株式会社	綴じ込みの「書写ブック」（硬筆練習帳）には、毛筆の教材文字と同じ要素を持つ硬筆課題が設定され、必要に応じて既習事項を確認しながら書写の基礎・基本を身に付けられるよう工夫されている。 教材のはじめに「考えよう」が設定され、生徒が文字の特徴や書き方のポイントを考えたり、話し合ったりする活動が位置付けられている。 何をどう学ぶのか、何ができるようになったか、身に付けた力をどう生かすかが分かりやすい構成となっており、主体的な学習姿勢を育成できるように工夫されている。 学習の流れが右ページから左ページへと示され、紙面がシンプルに構成されている。毛筆手本の横には、筆順や穂先の動きが分かるように朱書きが示されている。UD書体を紹介するなど、他教科や学校行事等で活用したり、関連付けて取り組んだりすることができる内容を取り入れている。
社会 (地理的分野)	東京書籍株式会社	見開き1単位時間の構成とし、「学習課題」、本文、「チェック&トライ」という流れで、問いを軸に構造化されている。学習過程に「スキルアップ」を設け、基礎的・基本的な技能を身に付けさせる工夫をしている。各節末の「まとめの活動」では、単元全体を貫く「探究課題」に立ち返りながら単元のまとめをさせ、本文途中に設けた「みんなでチャレンジ」では対話的学習をさせることで思考力、判断力、表現力を養わせる工夫をしている。各編の冒頭に「導入の活動」を設け、小学校の学習を振り返る活動や写真を使った学習を通して地理的事象に興味・関心を高めさせたり、「ICTを活用した学習」により自学自習ができるようにして主体的に学習に取り組む態度を養えるようにしている。SDGsなどの現代的諸課題を取り上げ、解決のためにできることは何かを考えさせることで、社会に参画する意識を涵養させる工夫をしている。各章の冒頭で「小学校の社会で習ったことば」を示し、小学校での学習とのつながりをスムーズにできるようにしている。
社会 (歴史的分野)	東京書籍株式会社	各章の冒頭で小学校の学習を振り返り、「みんなでチャレンジ」で対話的な学習に取り組みながら章の学習に見通しをもたせる工夫がされている。各章ごとに「探究課題」「探究ステップ」を設定し、見開きごとに「学習課題」を示し、3段階の学習課題を通して課題解決までの流れを構造化している。1時間の学習内容は、最後の「チェック」で基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」で学習内容を言語活動でまとめるという形式で統一している。歴史学習に必要な基礎的・基本的な技能が身に付けられる「スキルアップ」の欄を設け、「読み取る」「まとめる」などの活動ができるようにしている。各章末では「基礎・基本のまとめ」「まとめの活動」で学習してきた時代を大観するだけでなく、「くらげチャート」「Xチャート」「ピラミッドストラクチャー」等を用いて思考力、判断力、表現力が育まれるように工夫をしている。川越市の藩校が掲載されている。

種目	発行者名	主な採択理由
社 会 (公民的分野)	東京書籍 株式会社	各章の冒頭の「導入の活動」において、身近な題材を取り上げて話し合い活動を行うことを通して学習内容に興味・関心をもたせて章の学習を貫く「探究課題」を立て、それを追究するために節ごとの課題「探究のステップ」、1時間ごとの課題「学習課題」を設定し、課題解決を図る流れになっている。毎時間の最後は、基礎・基本を確認する「チェック」と要約や説明をする言語活動の「トライ」の2段階で学習内容を確実に定着させる工夫がされている。章末の「まとめの活動」では、思考の整理に適した様々な思考ツールを使って対話的学習を行うことを通して思考力、判断力、表現力を育成し、「探究課題」の解決を図る工夫がされている。特設ページ「もっと公民」では、SDGsに関連する内容を取り上げて現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成できるように工夫している。成人年齢引き下げに対応するために、特設ページ「18歳へのステップ」を設け、「選挙の流れ」と「契約のあれこれ」を扱っている。
地 図	株式会社 帝国書院	A4版に大判化され、地図が広域化された。世界各州の全てに鳥瞰図を入れ、地形、産物、名所、独自の文化などを大観することで一般図での読み取りがしやすくなる工夫がされている。生徒が主体的に学べる問いとして「地図活用」を94か所に設け、二次元コードを使って解答を確認できるようにしている。日本の各地方全てに、自然環境、人口、産業、交通の4つの中核となる事象の資料図を同縮尺で掲載することにより因果関係を比較・関連づけながら考察できるようにして資料活用能力を高める工夫がされている。世界全体に関するページ、日本全体に関するページでは、「学習課題」が設定され、資料を活用して課題追究・解決ができるよう工夫をしている。防災に関する資料を充実させ、日本の7地方全てで扱い、防災への意識が高まるようにしている。生徒が主体的に学習に取り組めるようにデジタルコンテンツに接続するための二次元コードが掲載されている。
数 学	東京書籍 株式会社	巻頭に、「この本の使い方」「大切にしたい数学の学び方」「ノートづくり方」がまとめられている。「大切にしたい数学の学び方」では、問題解決的な学習のポイントが示され、各学習内容において、一貫した流れで構成されている。「Q」で学習のきっかけを与え、「？」で本文の学習につながるようになっている。「Qマーク」で「見方・考え方」を示し、主体的に考える一助となっている。 適用問題では、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために段階をおって指導できるように、また、「章の問題B」では、知識技能を活用し、思考力、表現力を高められるように記述問題を取り上げている。 「深い学び」や「学びをひろげよう」では、主体的・対話的で深い学びが展開できるような題材が示され、数学と日常生活とを結びつけ数学の有用性も実感できるように構成されている。
理 科	東京書籍 株式会社	教科書のサイズは、現行より縦に40mm大きくなっている。視線の移動が少なく、流れがわかりやすいレイアウトになっている。 教科書とウェブコンテンツにおいて観察・実験の基礎・基本を押さえたうえで、観察・実験を行えるようになっている。 知識の定着については、作図や計算などに、「例題」「考え方」「練習」の項目が設けられている。 観察・実験においては、話し合い活動が多く取り入れられ、また、考察の項目が細かく設定されている。教科書の構成として、観察・実験のページには答えの記載がなく、ページをめくらないとわからないよう工夫されている。 「つながる科学」や「学びをいかして考えよう」では、学習内容を俯瞰し、日常生活との関わりについても学べる構成となっている。「科学の本だな」では学習内容に関連する本を紹介している。

種目	発行者名	主な採択理由
音 楽 (一般)	株式会社 教育芸術社	学習内容の一覧や各ページの学習のねらいの部分が「歌唱」「創作」「鑑賞」の学習活動ごとに3色で色分けされ、学習しやすいように工夫されている。特に、学習内容の一覧では「歌唱」「創作」「鑑賞」で身に付ける思考力、判断力、表現力、知識・技能の学習内容と各教材、音楽科の学習を支える〔共通事項〕との関わりをわかりやすく示し、見通しをもって主体的な学習ができるよう工夫されている。 「深めよう！音楽」では、段階的に学んだり、意見交換をしたりできるような内容となっており、主体的・対話的で深い学びを実現しやすくなるよう工夫されている。また、2・3下では、ポピュラー音楽のジャンルについて海外編と日本編、SDGsなどを扱い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができるように工夫されている。教科書全体が糸綴じであり、写真も効果的に配置されるとともに、UDフォントが多数用いられている。
音 楽 (器楽合奏)	株式会社 教育芸術社	学習内容の一覧には、「器楽」「創作」で身に付ける思考力、判断力、表現力、知識・技能の学習内容と各教材、音楽科の学習を支える〔共通事項〕との関わりをわかりやすく示し、見通しをもって主体的な学習ができるよう工夫されている。 目次の前に、活躍しているピアニストや文芸批評家から、器楽に関する生徒達へのメッセージがあり、器楽分野の「学びに向かう力」等の育成を後押し、幅広い価値観を養うことができるように工夫されている。 リコーダーのチューニング、タンギング、アーティキュレーションなどの説明や技能習得の手立てがわかりやすく示されているとともに、難易度ごとに選曲されている。 また、ギター、和楽器、打楽器の各楽器の音色や響き、奏法について詳しく触れるとともに、アンサンブル楽曲も複数示されている。
美 術	開隆堂 出版株式会社	各題材が見開きで見られるようになっており、学習の目標が各観点別に設定されている。また、一題材の中に多様な表現技法を用いた作品を掲載し、意図的に大きさや明度・彩度など変化をつけたレイアウト構成となっている。また、全頁に作家作品や制作過程、作者の言葉や作家の様子がわかる写真などを掲載するとともに、作家自身についてや作品への思いや考え、表現意図について、一人ひとりの生徒が自分の考えを広げ、深く考えられるような工夫がされている。 基礎的・基本的な技能の習得や材料・道具の扱い方などについては、巻末の「学びの資料」やQRコードに、写真や図版を用いてまとめている。その他、QRコードは美術館ホームページとつながるようになっており、最新の美術情報や専門的な知識に触れることができ、美術館を身近に感じられるような工夫がされている。これらにより、生徒の実態や授業者が身に付けさせたい力に応じて題材設定を工夫でき、一人ひとりの生徒が自らの主題を立てて自由に発想を広げる等、主体的に学べる授業ができるようになっている。
保健体育	株式会社 学研教育みらい	学習の流れは、自然に課題解決的な学習が進められるように、見開きページを1単位時間として、4つのステージで構成されている。「学習の目標」「課題をつかむ」では、本時の学習課題を確認しその解決に向かい基礎・基本を学べるように工夫されている。「考える・調べる」では、知識や情報を基に調べたり話し合ったりする構成となっている。「まとめる・深める」では、人に伝えたり、実生活につなげたりする内容となっている。特に現代的な課題（いじめ・災害・がん教育、熱中症、放射線、臓器移植等）においては、各章の最後にある「探究しようよ！」のコーナーでも取り上げ、命と人権を踏まえて大切に扱い生徒のより深い学びにつなげるための工夫がされている。また、「章のまとめ」では、各自で自主学習ができるような問題形式で基礎・基本となる知識について確認できる構成となっている。 生徒が興味・関心をもって主体的に学習に取り組めるよう図表や写真、イラスト等が適所に使用され、関連のウェブサイトを紹介し、インターネットで調べ学習に取り組める構成になっている。

種目	発行者名	主な採択理由
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍 株式会社	各内容が「理解する」「問題解決に取り組む」「つなげる、広げる」の3部構成となっている。1ページあたりの情報量が豊富で、生徒の興味・関心や理解度を高めることができるようになっている。各内容の始めには、「技術の見方・考え方」「発見、技術の最適化」が用意されていて、様々な側面から技術を考えたり、理解したりすることができるようになっている。また、学校の実態によって選択できるように複数の問題解決例と資料が取り上げられている。「技術の匠」を設け、先人の苦労や発見に気づき、学習内容を深めることができるような工夫がある。「問題解決例」の部分では、製作例が1ページずつ紹介されていて、材料取り図や部品表、製作の手順、さらなる工夫について記載されている。さらに「環境」「技術の天びん」等のマークで、現代社会が抱える問題点や疑問点を示し、SDGsの目指す持続可能な社会について考えるように工夫されている。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂 出版株式会社	見開きで見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、「小学校での学び」を記載し、既習事項の内容確認から学習を進めることで生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。 知識及び技能の習得のため、導入時に、興味・関心をもたせ、学習の目標や課題を明確にし、学習についての意欲を高め、学ぶべきことを焦点化するように構成されている。 自らの考えを深め、思考力、判断力、表現力等を育成するために、「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「発表しよう」など多様な学習活動場面を設けている。 学習ごとに「持続可能な家庭生活・食生活・衣生活・住生活」、そして「持続可能な社会」を設定し、持続可能な開発目標の該当するアイコンを掲載し、現代社会の課題に目が向くようにしている。
英 語	東京書籍 株式会社	各単元は、「Preview」で新出表現の使用場面や目的を捉え、「Story」で本文の概要を理解させ、「Practice」で新出表現を定着させるようになっている。 単元途中の「Mini Activity」、単元末の「Unit Activity」、学期末の「Stage Activity」という順で、知識・技能を段階的に育成し、4技能5領域をバランスよく習得できるように構成されている。 各学年のUnit 0では、1年生は小学校の、2・3年生は前学年の復習ができる。題材は多様な内容が扱われており、イラストデザインも小学校から一貫している。④のアイコンで小学校での既習事項が一目で分かるようになっている。 各単元にあるQRコードによって、単語や本文の音声やアニメーションを再生できるようになっている。
道 徳	東京書籍 株式会社	各教材が身近な状況設定であるため、生徒が自分のこととして捉えやすい。全学年で「いじめ問題」「生命尊重」では、教材を組み合わせたユニット構成としており、様々な側面から、多面的・多角的に考えを深める工夫をしている。 SNSでのいじめなど、新しい情報モラル対応教材が学年を追うごとに増えていき、内容も発達段階に即したテーマになっている。 全学年で役割演技を主体とした活動「ACTION!」が2カ所組み込まれており、グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングなど、体験的な学習ができるようになっている。 巻末には、付録の心情円が収録され、それらを活用することで心情の可視化や意見交流の活発化を図ることができ、生徒が主体的に考え、話し合うことができる工夫がなされている。挿絵・写真・漫画のほかデジタルコンテンツも用意されており、生徒の興味関心を高めるとともに道徳的価値を深く理解できるようにしている。